

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度の方考え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	---------------	--------------------------------

基本目標1. 地域住民等が共に助け合い、支え合う環境(関係)づくり ～地域住民の福祉意識の高揚～

施策1 地域福祉に対する意識の醸成

【具体的な取組】地域住民の交流機会の充実

1	地域福祉に関する学習機会の提供	イベント等を通じてボランティア活動等を啓発し、福祉への意識の向上を図ります。	福祉課	1回	向上	みよし市社会福祉協議会がMIYOSHI福祉まつりを開催し、社会福祉大会の中で福祉活動の功労者に対する表彰を行ったり、ボランティア及び福祉事業所の活動について啓発を行いました。また協議会内に災害ボランティアセンターを設置し職員研修を行いました。 産業フェスタやイオン三好店で開催したみよし市地域自立支援協議会主催イベントにおいても、福祉事業所の作品販売や様々な体験活動等を行い、市民の福祉への意識向上の機会を設けました。	A		今後も福祉団体や市の所管課が各々で啓発活動を行います。
---	-----------------	--	-----	----	----	--	---	--	-----------------------------

施策2 地域住民等の交流・支え合い活動の推進

【具体的な取組】市民団体などによる自主的な課題解決への支援

2	がんばる地域応援補助金の活用	まちづくりに取り組む新規の公益活動を支援します。	協働推進課	7団体	向上	みよし市ががんばる地域応援補助金をR3, R4, R5に採択した7団体に交付。	B		みよし市ががんばる地域応援補助金をR4, R5, に採択した4団体に交付。がんばる地域応援補助事業審査会を実施。
3	地域文化活動等推進事業補助金の活用	文化活動、生涯学習を推進する団体を支援します。	生涯学習推進課	20団体	向上	生涯学習活動を積極的に推進する団体又は新たに生涯学習活動を開始する団体に対し、その活動を支援するために補助金を交付しました。 ・R6.5.15(水)～7.25(木) 荻生行政区 和太鼓 ・R6.7.21(日)～12.8(日) 東山行政区 東山大学講座/東山秋の文化祭 ・R6.10.26(土)～27(日) 三好丘旭行政区 三好丘旭行政区秋の文化祭 ・R6.10.26(土) ひばりヶ丘行政区 ひばりヶ丘行政区秋の文化祭 ・R6.10.27(日) 三好丘行政区 三好丘フェスタ(文化祭) ・R6.10.27(日) 三好丘あおば行政区 三好丘あおば行政区オータムフェスティバル ・R6.11.3(日) 荻生行政区 荻生文化祭 ・R6.11.8(金)～11(月) 福田行政区 福田行政区文化展 ・R6.11.10(日) 三好下行政区 三好下文化祭 ・R6.11.10(日) 西一色行政区 西一色文化祭 ・R6.11.10(日) 明知上行政区 明知上行政区秋の文化祭 ・R6.11.17(日) 平池行政区 平池行政区文化祭 ・R6.11.17(日)～23(土) 三好丘緑行政区 三好丘緑行政区文化祭 ・R6.12.14(土)～15(日) 三好丘桜行政区 桜文化展 以上13団体(14件)に補助金を交付しました。	B		令和5(2023)年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、活動自粛となっていた団体の生涯学習活動の再開も見られています。 今年度補助金を交付した団体も含め、13団体(文化活動推進事業12件、文化活動推進事業及び生涯学習推進事業1件)の交付を予定しています。

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの 理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度考え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	-------------------	------------------------------

施策3 地域ぐるみの防災・防犯活動の推進
【具体的な取組】災害時の対応連携強化

4	福祉避難所の指定か所数	市内の福祉事業所等を福祉避難所に指定します。	防災安全課	4か所	向上	福祉避難所の指定について、社会福祉法人昭徳会と協議を行った。 【福祉避難所】三好特別支援学校、三好老人保健施設、あゆみ会(しおみの丘・さくらの丘・おひさまハウス一号館、おひさまハウス二号館)、あさみどりの風(生活介護わらび・共同生活援助わらび)、いきもの語り 計9ヶ所	B		福祉避難所の指定にむけて、社会福祉法人昭徳会と協議を重ねていきます。
5	避難行動要支援者の個別計画作成率	災害時に配慮が必要な人の個別計画作成を促進します。	福祉課	22%	向上	自主防災会(行政区)に避難行動要支援者名簿を提供して個別計画の作成を依頼しました。自主防災会のメンバーが毎年代わり計画作成の方法や重要性が引き継がれてないことが課題なので、自主防災会(行政区)、民生児童委員、福祉関係者を対象に個別計画作成ワークショップを開催しました(3日間合計100人参加)	B		おかよし地域で実施する地域づくり事業(重層的支援体制整備事業)を中心に、自主防災会と高齢者、障がい者の支援関係者のコーディネートを行い、避難行動要支援者の個別避難計画の作成数増加を促進する
6	【新規】防災訓練の実施	市と福祉施設、福祉団体などで防災訓練を共同実施します。	防災安全課	—	実施	NPO法人あいちNPO市民ネットワークセンターが、がんばる地域補助金を活用して「福祉事業所と地域をつなぐ災害時のいろは」事業を開始し、福祉事業所とその事業所がある行政区の災害対策の調査等を行った。	B		市(地域)と福祉施設、福祉団体との防災訓練の協働実施について、検討を継続する。

施策4 ボランティア・NPO・企業・社会福祉法人の活動促進
【具体的な取組】ボランティア活動の促進

7	市民活動センター登録団体数	市民活動を行う団体の増加に向けて取り組みます。	協働推進課	52団体	向上	専門の相談員を配置し、市民活動団体の活性化や団体設立に関する相談を協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、35件実施しました。また、がんばる地域応援補助金により、市民活動団体のスタートアップの支援、更なる新規の公益活動に対する支援を行っています。令和6年度末時点市民活動サポートセンター登録団体数は63団体です。	B		協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、協働相談を実施します。また、がんばる地域応援補助金により市民活動団体のスタートアップの支援、更なる新規の公益活動に対する支援を行います。
8	ボランティアセンター登録者数	ボランティア登録者の増加に向けて取り組みます。	社会福祉協議会	88団体 3,265人	向上	運転ボランティア交流会(参加者4名)、ボランティア講座「小中学生点字体験教室」(参加者35名)、ボランティア講座「はじめの一步」(第1回参加者7名、第2回参加者8名、第3回参加者6名)、災害ボランティアコーディネーター養成講座(参加者22名、フォローアップ参加者10名)、災害ボランティアセンター開設研修(市役所職員8名、職員20名、参加者15名)を行った。 ボランティア登録者 123団体 3,998人・コーディネート件数 563件	B		地域住民の方のお声を聞いて講座が実施できるように計画をする
9	ボランティア通信の発行回数	ボランティア通信を発行し、活動を啓発します。	社会福祉協議会	4回	向上	ボランティア通信の発行は中止し、社協だよりに統合し掲載した。	E	ボランティア通信の発行を中止したため(社協だよりに掲載)	社協だよりにボランティアセンターの記事を掲載、HPに随時お知らせを掲載していく

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの 理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度を考え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	-------------------	-------------------------------

基本目標2. 誰もが必要な福祉サービスを利用できる体制づくり ～地域福祉ネットワークの強化～

施策1 各分野における相談支援体制の整備

【具体的な取組】各分野の相談支援窓口の充実

10	子育て世代包括支援センターの設置	妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を行います。	こども相談課	1か所	向上	令和6(2024)年4月に、すべての妊産婦・子育て世帯・こどもへの支援を一層充実させるため、「子育て世代包括支援センター(母子保健)」と「子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)」を統合し、新たに「こども家庭センター(こども相談課)」を設置しました。各部門が連携し妊娠期から子育て期まで一体的な相談や支援を行いました。	A		妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を行います。
11	子育て総合支援センター総合相談窓口の設置	子育て総合支援センターや子育てふれあい広場での相談体制を充実します。	保育課	6か所	向上	・講師による育児講座を開催し、309組の参加がありました。 ・わくわくルーム(2歳児)、ぴよちゃんルーム(1歳児)、あかちゃんルーム(0歳児)を開催しました。 【参加組数内訳】 ・わくわくルーム:241組 ・ぴよちゃんルーム:373組 ・あかちゃんルーム:744組	B		・親子ルームを引き続き開所し、同じ年頃の子どもを持つ親子に、集う場を提供する。 ・親子で一緒に遊びながら、ふれあいや友だちづくりができるように支援する。
12	障がい者相談支援専門員の配置	障がい者の相談支援業務を法人に委託し、相談支援専門員を配置します。	福祉課	6人	向上	障がい者相談支援事業を市内6法人に委託し、9人の相談支援専門員が相談支援にあたりました。R6年度相談件数は、7,337件です。	B		障がい者相談支援事業を市内6法人に委託し、10人の相談支援専門員が相談支援にあたっています。
13	地域包括支援センターの設置	日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置します。	長寿介護課	3か所	向上	令和4(2022)年4月におかよし地域を新設し、おかよし地域包括支援センターを設置しました。これにより4つの日常生活圏域にセンターを設置完了しました。	D	日常生活圏域は4か所であり、すべての圏域にセンターを設置しました。	

施策2 地域における福祉ネットワークの形成

【具体的な取組】各分野のネットワークの強化

14	保健対策推進協議会の設置、開催	市民の健康保持増進に関する地域課題の解消に向け、関係者で話し合います。	保険健康課	2回	継続	会議を年3回開催し、健康みよし21(第3次計画)策定などの議題を通して、地域課題について関係者で話し合う機会を設けることができました	B		今年度は会議を2回開催予定で、健康みよし21(第3次計画)の進捗状況の確認を通して地域課題についての話し合いを行います。
15	障がい者自立支援協議会の設置、開催	障がい者の地域課題の解消に向け、関係者で話し合います。	福祉課	3回	継続	全体会を3回開催しました。児童部会3回/年、就労支援部会3回/年、精神保健福祉部会3回/年、医療的ケアさぽーと部会3回/年開催し、障がい者(児)の地域課題の解消に向け、関係機関で集まり、協議を行いました。	B		全体会3回、児童部会3回、就労支援部会2回、精神保健福祉部会3回、医療的ケアさぽーと部会3回開催。障がい者(児)の地域課題の解消に向け、関係機関で集まり、協議を行います。
16	地域ケア会議の設置、開催	高齢者の地域課題の解消に向け、関係者で話し合います。	長寿介護課	4回	継続	地域包括ケア推進会議を3回開催しました。また、同会議の下部組織として構成している認知症施策推進作業部会、在宅医療・介護連携対応施策検討作業部会を月1回開催し、認知症施策では、本人発信支援について議論を開始しました。個別ケースから地域課題の抽出を多職種で行う自立支援型ささえ愛会議を4回開催しました。個別ケースの支援を目的に、ささえ愛会議(個別ケア会議)を28回開催しました。	B		令和7(2025)年度は、地域包括ケア推進会議を3回、自立支援型ささえ愛会議を4回、個別のささえ愛会議は必要時に開催する予定です。

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの 理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度の方考え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	-------------------	--------------------------------

施策3 誰もが働きやすい就業環境の整備
【具体的な取組】 各分野の就労支援体制の充実

17	子育て家庭の就労支援件数	母子・父子自立支援員が相談に対応します。	こども相談課	12件	向上	・母子・父子自立支援員によるひとり親家庭の自立に向けての相談を行いました。(就労の相談は13件) ・さらに、就労するにあたり、生活状況の中で阻害要因を把握して、具体的な就労に向けての面談を実施し、プログラムを策定した者が、その後、一定条件の就労をしたときには自立支援就労促進給付金を支給しました。	B		ひとり親家庭の自立に向けて相談を行います。 ・相談事例に応じた助言や関係機関の紹介、給付金の支給を行い、相談者の悩みや不安の軽減に努めます。
18	障がい者の就労支援件数	障がい者や企業からの相談に対応します。	福祉課	554件	向上	一般社団法人はたらく協議会に、就労支援事業を委託し障がい者の就労を支援しています。また、企業側に障がい者就労について理解していただくための啓発活動を行いました。相談支援件数1,348件。	B		一般社団法人はたらく協議会に、就労支援事業を委託し、障がい者の就労を支援しています。
19	高齢者の就業者数、就労支援件数	高齢者の就業の場の確保に努め、支援体制を充実します。	長寿介護課	370人	向上	・公益社団法人みよし市シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など、高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付し、支援しました。	B		・公益社団法人みよし市シルバー人材センターへ補助金交付等で支援します。

施策4 生活困窮者への支援
【具体的な取組】 生活困窮者への支援体制整備

20	生活困窮者への相談・就労支援件数	くらし・はたらく相談センターで、生活困窮者の相談を受け付けます。	福祉課	〈相談〉 675件	向上	生活困窮者への状態に応じた「包括的」かつ「継続的」な相談支援等を実施するとともに、横断的な支援体制を構築し、生活困窮者が自立できるよう支援を実施しました。令和6年度相談実績 1,102件。	B		生活困窮者への相談支援を社会福祉協議会、就労支援をみよしはたらく協議会に委託し実施します。
				〈就労支援〉 18件	向上	生活困窮者への一般就労に向けた日常生活自立・社会自立・就労自立のための支援を実施しました。令和6年度相談実績 150件。	B		
21	【新規】子どもの学習・生活支援の整備	子どもの学習・生活支援体制を整備します。	福祉課	—	整備	生活困窮世帯やひとり親世帯などの子どもを対象に、学習意欲向上、学習習慣の定着、基礎学力の向上のための学習支援や学習の場所・機会を提供しました。令和6年度末の登録者数11人。	B		生活困窮世帯やひとり親世帯などの子どもを対象に、学習意欲向上、学習習慣の定着、基礎学力の向上のための学習支援や学習の場所・機会を提供します。

施策5 ひきこもりに対する支援
【具体的な取組】 ひきこもり状態にある人や家族の支援体制整備

22	【新規】ひきこもり支援体制の整備	ひきこもり状態にある人やその家族の相談窓口や居場所を整備します。	福祉課	—	整備	障がい者等サポートセンター内に設置したシエルブルーにおいて、ひきこもりに関する相談対応や、居場所として活動を提供する等しました。相談件数:712件、居場所登録者:103人、居場所利用者:2,536人	B		シエルブルーで、ひきこもり状態にある人やその家族の相談支援と居場所支援を行います。
----	------------------	----------------------------------	-----	---	----	---	---	--	---

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの 理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度を考え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	-------------------	-------------------------------

基本目標3. 地域福祉の活動に積極的に関わる担い手づくり ～多様な主体の参加促進～

施策1 福祉教育の推進

【具体的な取組】小中学校での福祉教育

23	福祉実践教室の実施回数	学校で福祉実践教室を実施します。	社会福祉協議会	6回	向上	学校で児童・生徒を対象に福祉実践教室を実施しました。 ・小学校6校(全10回)、中学校4校(全4回)	B		トヨタ自動車との連携授業等、新しいプログラムを学校に積極的に案内をする。
24	学校での福祉に関する講座や体験の回数	学校で福祉の講座や体験等を実施します。	長寿介護課	12回	向上	小学校は8校、中学校は2校、高校は1校、大学は1校で認知症サポーター養成講座(12回)を実施しました。小学生は578人、中学生は72人、高校生は279人、大学生は368人が受講しました。	B		小学校8校、中学校、高校、大学で開催します。

施策2 地域福祉を担う人材の確保・育成

【具体的な取組】地域福祉を担う人材の育成

25	ヘルスパートナー養成教室修了者数	ヘルスパートナー養成教室を開催します。	保険健康課	延56人	向上	ヘルスパートナー養成教室を開催し、4人のヘルスパートナーを養成しました。	B		ヘルスパートナー養成教室は隔年開催としており、今年度はヘルスパートナー養成教室はありません。
26	ゲートキーパー養成教室受講者数	自殺対策としてゲートキーパー養成教室を開催します。	保険健康課	延37人	向上	市関係部署職員等を対象に養成教室を開催し、31人が受講し、自殺対策に関する知識習得を行うことができました。	B		今年度は主に市民を対象に養成講座を開催する予定です。
27	認知症サポーター養成講座開催数	認知症サポーター養成講座を開催します。	長寿介護課	延1,745回	向上	認知症サポーター養成講座を30回開催し、1, 504人が受講しました。開始場所としては、小中学校、金融機関、市役所等で実施しました。	B		認知症サポーター養成講座を、20回開催し1,500人を養成する計画としています。
28	民生委員・児童委員に対する研修回数	民生児童委員協議会の研修の企画、開催を支援します。	福祉課	5回	向上	民生児童委員協議会で研修を10回開催しました。	B		R7年度も研修の企画、開催を支援します。

施策3 専門人材の確保・育成

【具体的な取組】専門人材の確保・育成に向けた支援

29	介護職員雇用PR支援補助の実施	介護事業所等の職員募集のための広告費等を補助します。	長寿介護課	4件	向上	2件補助しました。	B		介護、福祉事業所の人材育成補助制度を改正し、雇用PR支援を含めて引き続き補助事業を継続します。
30	援助技術等、従業者の資質向上のための研修回数	各福祉分野の専門人材を対象とした研修会を開催します。	福祉課	〈障がい〉8回	向上	〈障がい〉自立支援協議会の人材育成検討チームを置いて、年5回研修を開催しました。	B		自立支援協議会の人材育成検討チームで研修開催します。
			長寿介護課	〈高齢〉5回	向上	介護支援専門員向けに2回、現任介護職員向けに3回研修を実施しました。	B		介護支援専門員向けに2回、現任介護職員向けに3回研修を計画します。

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの 理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度の考え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	-------------------	-------------------------------

施策4 福祉事業所の体制強化

【具体的な取組】

31	障がい福祉サービス 運営費補助金の交付	市内の障がい福祉サービス事業所に対し、運営費補助金を交付します。	福祉課	6法人	向上	生活介護、就労移行支援及び就労継続支援を行っている6法人7事業所に、運営費補助金を交付しました。	B		生活介護、就労移行支援及び就労継続支援を行っている事業所に運営費補助金を交付します。
32	【新規】 地域リハビリテーション 活動支援事業の実施	地域の介護予防の機能強化のため、リハビリテーション専門職が助言等を行います。	長寿介護課	—	実施	サービス担当者会議に1件、通いの場に1件派遣しました。2件とも申請したケアマネ、通いの場代表からリハビリテーション専門職からの助言が的確で参考になったという報告がありました。	B		事業を継続します。

施策5 生涯学習の推進

【具体的な取組】

33	生涯学習講座の開催、受講者数	福祉に関する生涯学習講座(親子・小学生対象、障がい者対象、高齢者対象など)を企画、開催します。	生涯学習推進課	55講座 515人	向上	年間で165講座を開催し、1,747人が受講しました。その内福祉に関する生涯学習講座(親子・小学生対象、障がい者対象、高齢者対象など)は21講座開催し、250人が受講しました。	B		福祉に関する生涯学習講座(親子・小学生対象、障がい者対象、高齢者対象など)を企画、開催します。
----	----------------	---	---------	--------------	----	--	---	--	---

基本目標4. 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり ～地域共生社会の基盤整備～

施策1 包括的な相談支援体制の整備

【具体的な取組】包括的な相談窓口の設置

34	福祉総合相談センター全体の相談件数	高齢者及び障がい者(児)の生活、児童の発達等に関する相談に対応します。	福祉課	921件	向上	高齢者及び障がい者(児)の相談を受け付け、必要に応じて地域包括支援センターや相談支援専門員等と連携し、対応しました。令和6(2024)年4月から重層的支援体制整備事業を開始し、多機関協働事業等を委託したみよし市社会福祉協議会とともに複雑、複合化した事例に対応しました。	B		高齢者、障がい者(児)を始め福祉に関する全ての相談に対応し、必要に応じて地域包括支援センターや相談支援専門員、多機関協働事業等実施者等と連携します。
35	くらし・はたらく相談センター全体の相談件数	生活に困っている人のくらしや働くことに関する相談を受け付けます。	福祉課	3, 557件	向上	障がい児者の相談、生活困窮の相談など、生活に困っている人のくらしや働く事に関する相談事業を実施しました。令和6年度相談実績 4,690件。	B		障がい者(児)の相談、生活困窮の相談など、生活に困っている人のくらしや働く事に関する相談事業を実施しています。
36	【新規】 地域における包括的な相談窓口の設置	日常生活圏域ごとに、地域生活課題を包括的に受け止める相談窓口を整備します。	福祉課	—	整備	令和6(2024)年度から重層的支援体制整備事業を開始し、おかよし地域に包括的な相談窓口を整備するため、市内社会福祉法人と調整等を行い、令和6(2024)年10月におかよし地域の相談を受け止める窓口を整備しました。	B		重層的支援体制事業の実施にあたり、市内の福祉事業所職員に対する周知、啓発を行います。おかよし地域以外の包括的な相談窓口についても今後検討していきます。
37	【新規】 コミュニティ・ソーシャルワーカーの配置	コミュニティ・ソーシャルワーカーの配置を検討します。	福祉課	—	整備	令和6(2024)年度から重層的支援体制整備事業を開始し、みよし市社会福祉協議会に多機関協働事業等を委託してコミュニティ・ソーシャルワーカーをおかよし地域包括支援センター内に配置しました。	B		重層的支援体制事業の実施にあたり、コミュニティ・ソーシャルワーカーの増員について今後検討していきます。

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの 理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度の方考え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	-------------------	--------------------------------

施策2 多機関協働の促進

【具体的な取組】多職種連携の場の設置

38	医療的ケアが必要な 方の事例検討回数	障がい者自立支援協議会で多職種による 事例検討を行います。	福祉課	2回	向上	障がい者自立支援協議会の医療的ケアさぽーと部会を年3回開催し、 その中で事例検討会を行いました。	B		障がい者自立支援協議会の医療的ケア さぽーと部会で、事例検討会を行いま す。
39	認知症初期集中支援 チームでの支援人数	対象者の認知機能の評価や生活継続に 関する課題を整理し、多職種で支援しま す。	長寿介護課	7人	向上	認知症初期集中支援チームで、1人支援しました。実際にチーム員が ケース支援を行う以外に、毎月開催しているチーム員会議にケアマネ等 がケース相談できるようにし、20件の相談をうけました。	B		認知症初期集中支援チームで、必要な 人に支援します。

施策3 地域における活動場所の提供

【具体的な取組】活動場所の明確化

40	市民活動の活性化や 団体設立の相談件数	市民活動センター等で相談を受け付け、 対応します。	協働推進課	11件	向上	専門の相談員を配置し、市民活動団体の活性化や団体設立に関する 相談を協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、35件 実施しました。	B		協働推進課窓口及び市民活動センター (臨時)において、協働相談を実施しま す。
41	市民活動や福祉活動 を行うことのできる場 所	市内において市民活動、福祉活動のでき る場所を整備、充実します。	福祉課	2か所	向上	市民活動支援センター、福祉センターにおいて、市民活動や福祉活動を 実施しました。(市民活動支援センター1,123件、福祉センター684件で 活動を実施)	B		市民活動、福祉活動のできる場所の更 なる充実に向けて検討します。
42	【新規】 (仮称)活動場所マッ プの作成	地域住民や福祉団体が使用できる活動場 所マップの作成を検討します。	福祉課	—	作成	活動場所マップ作成にあたり、他市町のマップ等を調査しました。他市町 では一覧にまとめたり、地図上の位置を表記する等しており、これらを参 考に市民が活用しやすい活動場所マップの内容等を検討しました。	B		関係課にも協力を求めつつ、活動場所 マップの作成に取り掛かります。

第4期みよし市地域福祉計画 令和6(2024)年度進捗管理表

【凡例】 A:事業拡大 B:事業維持
C:事業縮小 D:事業完了
E:事業の中止・廃止 F:未着手

整理番号	指標名	事業内容	担当課	現状値 (策定時)	計画中の 目標値	令和6(2024)年度の実施内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など 【具体的に記載】	進捗状況	C, D, E, Fの 理由	目標値の達成に向けた 令和7(2025)年度の方え方
------	-----	------	-----	--------------	-------------	--	------	-------------------	-------------------------------

施策4 成年後見支援・日常生活自立支援の充実（成年後見制度利用促進計画）

【具体的な取組】成年後見支援を通じた地域づくり

43	成年後見支援センターの設置、相談対応	成年後見支援に関する相談窓口を設置し、相談に対応します。	福祉課	設置済み	継続	ふれあい交流館内に設置した成年後見支援センターにおいて、成年後見制度等に関する相談に対応しました。 相談件数:848件	B		みよし市成年後見支援センターで、成年後見制度に関する相談対応を行います。
44	成年後見制度の周知・啓発	成年後見制度に関する学習会等を開催します。	福祉課	—	4回	支援者及び市民向けに学習会を7回開催しました。	B		福祉事業所職員や民生児童委員等、福祉関係者を対象に学習会を開催します。
45	成年後見支援ネットワーク会議の開催	成年後見支援に関する地域課題の協議の場を設けます。	福祉課	3回	継続	成年後見支援ネットワーク会議を年3回開催し、みよしの成年後見支援について話し合いました。 後見人等候補者が少ないという課題に対応するため、令和6(2024)年度からみよし市社会福祉協議会が法人後見を開始しました。	B		成年後見支援ネットワーク会議を3回開催し、みよしの成年後見支援について話し合います。
46	成年後見支援が必要な人の事例検討会数	多職種による事例検討を行い、関係職員の資質向上を図ります。	福祉課	—	6回	みよし市成年後見支援センター報告会を月1回開催し事例検討を行いました。	B		成年後見支援センター報告会で事例検討を行います。

施策5 再犯防止に向けた取組（再犯防止計画）

【具体的な取組】実態把握と普及啓発

47	関係機関・団体との情報交換回数	再犯防止に関係する機関の会議等に参加し、連携を強化します。	福祉課	2回	継続	視察委員として名古屋刑務所の会議に参加し情報交換ができました。（6回） 名古屋刑務所就労支援フェスタに参加し、就労支援強化矯正施設としての就労支援の取組を見学しました。（1回）	B		名古屋矯正管区、名古屋保護観察所及び名古屋刑務所の会議や研修会に参加し連携を強化するとともに再犯防止の取組みを考えます。
48	更生保護団体への支援	保護司や更生保護女性会の活動をバックアップします。	福祉課	実施	継続	保護司会、更生保護女性会の活動や会の運営を支援しました。	B		保護司会、更生保護女性会の活動や会の運営を支援をしていきます。
49	犯罪をした者等の相談対応及び支援	犯罪をした者等の特性に応じ、保健医療、福祉サービス等の利用を促進します。	福祉課	実施	継続	犯罪をした者等からの福祉サービス等の利用に関する相談はありませんでした。令和6(2024)年度実績0件。	B		犯罪をした者等の特性に合わせ、必要に応じて保健医療、福祉サービス等の利用を促進します。
50	広報・啓発活動の推進	社会を明るくする運動等、再犯防止に関する取組を継続して実施します。	福祉課	実施	継続	社会を明るくする運動として、商業施設における街頭啓発、市内巡回パトロール、啓発書（習字）や掲示物による啓発などにより、再犯防止に関する啓発活動を実施しました。	B		社会を明るくする運動などにより、再犯防止に関する啓発活動を実施します。